

離島のネット環境の課題とは

業界団体が市内で交流会

一般社団法人 日本インターネットプロバイダー協会（JAIPA ジャイパ・久保真会長）は先月25、26の両日、全国から会員が集まり業界の最新情報や意見交換を行うイベント「第55回JAIPAの集い in 志岐」を開催。会員を中心に約110人が参加し、業界の最新の動向や地域活性の取り組みの紹介に耳を傾けた。

同協会は、インターネット接続サービス事業者など、インターネットに関わる企業の連携を目的に結成され、現在は全国で150社ほどが加盟している。全国各地で年

に2回の交流会を催しており、今回は、郷ノ浦町のクロスモバイル株式会社（秋山卓司代表取締役）の協力により本市での開催となった。

25日は、スマート漁業や離島ツーリズム、志岐焼酎とクラフトビールなど志岐に関連するテーマの発表が続いた。2日目には、離島のインターネット事情についての討論会も実施され、市ケールテレビを運営する光ネットワーク株式会社志岐支店（山下春幸取締役支店長）や対馬市ケールテレビ運営会社の株式会社コミュニティメディア（米田利己代表取締役

社長）らが参加。本市ではインターネット回線として海底の光ケーブルが利用されているが、台風や底引き網漁で断線する恐れがある。また、設置や整備には高額な資金がかかる。他地域で比較的安価に設置できる「マイクロ無線」が採用されている例を紹介されると、活発な意見交換が行われた。

久保会長は2日間を振り返り「離島の中では、志岐は比較的ネット環境が整備されている印象がある。今回の集いでは島外のネット環境や業界の実情についての話題もあり、認知も進んだと思



う。これを機に地元企業や自治体との連携が進めばと期待している」と話した。

6月の行政相談所開設

福岡行政相談委員協議会志岐支部（堀江宏澄支部長）は16日、行政相談所を開設する。場所は郷ノ浦町の志岐の島ホール、開設時間は午前10時から午後2時まで。次回は8月18日、勝本町ふれあいセンターかざはやで開催予定。

教科書選定のため 見本を一般公開

市教育委員会（山口千樹教育長）は、14日から来月3日の日程で来年度使用する小学校教科用図書の見本を一般公開する。選定の公正・公平を明